

オープニングセッションのインタビュー予定者を紹介します！

オープニングセッションでは、CSIRA(Comprehensive System International Association)を中心とした、包括システムを用いる実践家、研究者等のインタビューを動画配信いたします。インタビュー予定者が決まりましたので、その横顔を紹介いたします。



フェルナンド・シルバースタイン Fernando Silberstein
(国際ロールシャッハ学会(ISR)会長 アルゼンチン)

シルバースタイン博士は、2021 年から ISR 会長をつとめています。フランスのリヨン 2 大学にて心理学博士を取得し、現在はブエノスアイレス大学の哲学・文学部名誉教授、ロザリオ国立大学教授をつとめています。アルゼンチン心理アセスメント研究学会(ADEIP)の設立メンバーであり、前会長でもあります。また、Psicodiagnosticar 誌の編集委員、ロールシャッキアナの編集査読、ヘルマン・ロールシャッハ・アーカイブス・ミュージアムの副館長を歴任しています。著書論文は多数で、200 近い学会発表の経験があります。

パトリック・フォンタン Patrick Fontan
(国際ロールシャッハ研究所 International Rorschach
Institute : IRI 所長 フランス)

フォンタン博士は、フランスのパリ大学 Nanterre でアン・アンドロニコフ博士の元で学位を取得し、School Psychologist として小学校で勤務する傍ら、2020 年創設の国際ロールシャッハ研究所(IRI)所長、ロールシャッキアナの編集委員をつとめています。CSIRA の設立メンバーでもあり、オープンソースソフトウェアである CHESSSS を作成し、ロールシャッハ・テストの心理測定的アプローチに関する学位論文を発表しています。パリ西南大学やランス・シャンパン・アルデンヌ大学で臨床心理学の教鞭をとった経験もあり、臨床・教育・研究と幅広く活躍しています。なお、フォンタン博士は、JRSC 第 24 回福島大会で「ロールシャッハ・テストの未来」という特別講演を行ってられます。



中村紀子 Noriko Nakamura
(ISR100 年記念大会大会長・ISR 前会長・JRSC 顧問 日本)

中村紀子博士は、1989 年に設立された中村心理療法研究室の共同代表であり、同年包括システムの教育と研究のためにエクスナー・ジャパン・アソシエイツを設立し、現在までその代表もつとめ、年 10 回以上のワークショップや、スーパーヴィジョンを行っています。1993 年に設立された JRSC の設立メンバーでもあり、会長職を 2003 年～2015 年の 12 年間つとめました。2002 年からは ISR 理事、2008 年～2014 年は副会長、2014 年～2021 年は会長として世界中のロールシャッカーの先頭に立ってきました。2011 年の東京大会および 2022 年の ISR100 年記念大会では大会長をつとめています。CSIRA 設立メンバーであり、IRI のメンバーでもあります。2014 年からは、治療的アセスメント・アジアパシフィックセンター (ACTA) の共同設立者/ディレクターとして、成人およびカップルの治療的アセスメントのサーティフィケートを取得し臨床に従事しています。

サデグ・ナシャット Sadegh Nashat
(ISR100 年記念大会 Co-President スイス)

ナシャット博士は、ISR の前副会長で、2022 年に開催される 100 年記念大会の Co-President をつとめています。現在はジュネーブ大学で教鞭をとっています。ロンドンのタヴィストック・クリニックにおいて児童思春期の精神分析的な心理療法を専門として長年実践経験を積み、2012 年からは同クリニックの名誉コンサルタントとしても活躍しています。同年ジュネーブで個人開業の臨床実践もスタートしています。ロンドンのメンタルクリニックやパリの医療機関でも児童思春期の臨床に従事した経験があります。2005 年から 2018 年までロールシャッキアナの編集長をつとめ、イギリスロールシャッハ学会の公認トレーナーとして臨床教育にも携わっています。



キム・ガブリエル・ハンセン Kim Gabriel Hansen
(ISR 第 24 回大会大会長 デンマーク)

ハンセン博士は、デンマークのコペンハーゲンで開業している認定臨床心理学者であり、心理療法についての優れたスーパーバイザーです。コペンハーゲンの児童相談所で長年臨床に従事しながら、コペンハーゲン大学やオーフス大学で臨床心理学や心理アセスメントの教鞭をとった経験もあります。CSIRA の設立メンバーであり、IRI のメンバーでもあります。また、デンマークロールシャッハ学会の設立メンバーで、初代会長でもあります。2024 年にコペンハーゲンで開催される ISR 第 24 回大会では大会長をつとめます。デンマークで 25 年以上にわたり包括システムと心理アセスメントに関するワークショップを開催し、ロールシャッハとアセスメントに関する論文や、共同執筆の書籍も多数発表しています。

マリアーフィオレラ・ガザレ Maria-Fiorella Gazale
(CSIRA 第 5 回大会大会長 イタリア)

ガザレ博士は、1997 年からミラノ裁判所等の技術コンサルタントとして、刑事・民事事件の鑑定を担当しています。同年よりミラノ大学では臨床心理学の講師として教鞭をとっています。2006 年に設立されたイタリアの包括システムによるロールシャッハおよび統合的パーソナリティアセスメント研究所 (Italian Institute of Rorschach CS and Integrative Personality Assessment : IRPSI) の設立メンバーで、包括システムや統合的心理アセスメントについての教育・普及に尽力しています。スティーブン・フィン博士に治療的アセスメントの訓練を受け、ミラノにある医療機関では協働的アセスメントを実践しています。EMDR 心理療法士、マインドフルネス指向のセラピストとしても活躍しています。CSIRA の設立メンバー、また ISR の元理事であり、IRI のメンバーでもあります。



アンドレア・プリッディ Andrea Priddy
(ロールシャッハ研究財団代表 アメリカ)

プリッディ氏は、包括システムの生みの親であるジョン・E・エクスナー博士のご令嬢であり、ロールシャッハ研究財団の代表をつとめておられます。同財団はエクスナー博士によって設立され、“Rorschach Workshops”の通称で全米を始め、世界中で包括システムの研究や教育ワークショップを展開してきました。プリッディ氏は、長年にわたり、エクスナー博士の側近として博士のサポートを続けてきましたが、現在もその意志を継ぎ Rorschach Workshops の運営に携わっています。